



委員会



不法投棄パトロールで回収した粗大ごみ

不法投棄の苦情件数は、17年度が377件、18年度が352件であり、山間部や河川・海岸部で特に多い。不法投棄パトロールについては、業者に、毎週火曜日と木曜日に袋井地区2名、浅羽地区2名の体制で、パトロールとごみの回収を委託している。

不法投棄の件数はどのくらいあるか。また、不法投棄パトロールはどのように実施しているか。

建設経済委員会

福祉と連携した団地整備、民間アパートの入居者への助成など効率的な運営について来年度策定する整備計画に入れていきたい。

市営住宅の入居率の悪いところ、施設が古い所について、他の土地利用をしたらどうか。

建設経済委員会

袋井市民病院問題特別委員会より

(9/21開催)

掛川市立総合病院との統合について

新しい病院の建設については、袋井市民病院と掛川市立総合病院との統合が最善と判断したことに伴い、市長から「新病院の合同設置に向けての協議を開始したい」との表明がされ、「新病院建設に向けて、市民説明会を開催したい」との意向も示された。

あわせて市当局から、両市で“新病院建設協議準備会”を設置すること、その目的、業務内容、事務局体制等の説明がされた。

これに対し、委員から「建設場所が大きな問題である」との意見や「市民の不安を解消するため、早急に地域での説明会を開催してほしい」などの要望が出された。

袋井駅南地区まちづくり特別委員会より

(8/30開催)

袋井駅南北自由通路新設・橋上駅舎化事業の協議状況について

この事業について、市当局から「JR東海と工事協定を締結し、秋ごろから詳細設計を実施する予定であったが、国と鉄道事業者との間で鉄道施設の整備に係る負担に関する協議が行われることになったため、JR東海と協議の結果、工事協定の締結をしばらく延期することになった。また、袋井駅周辺の道路整備事業については、当初の予定どおり進めていく」と報告があった。

これに対し、委員から「今後協議を進める中で、同様の状況にある近隣自治体との情報交換や連携を強め、早く協定が締結できるよう行動を進めていただきたい」との意見があった。